

平成23年度 施策達成度評価シート (平成22年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
8	信頼される質の高い行政	81	健全な財政運営の実現
施策主管部 財政部		評価者(施策統括マネージャー)名 鷹野 徹	

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
財政	安定した財政運営ができています

2 達成度

(1)成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 (年度目標値)	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
市税の収納率	%	↗	91.74	92.55	61.63	92.55	94.00
経常収支比率	%	↘	95.90	90.60	90.40	90.60	88.60
実質公債費比率	%	↘	13.30	13.30	13.30	13.20	13.00

(2)近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等						
市税の収納率	青森市 91.88	秋田市 92.31	仙台市 93.76	山形市 92.88	福島市 92.54	郡山市 91.05	盛岡市 91.74 <暫定:H21年度末>
経常収支比率	青森市 89.9	秋田市 90.1	仙台市 97.4	山形市 88.9	福島市 87.2		盛岡市 95.9 <暫定:H21年度末>
実質公債費比率	青森市 13.8	秋田市 14.4	仙台市 12.7	山形市 11.0	福島市 6.9		盛岡市 13.3 <暫定:H21年度末>

3 達成度評価結果

取組内容と成果、成果を得られた要因	<p>①市税については、景気低迷からやや持ち直しの傾向が見られるものの、依然として雇用情勢は厳しく個人消費も十分に回復せず、企業業績も伸び悩んでいることから、前年度並みの収納率を見込んでいたものの、東日本大震災の影響から、個人・法人市民税及び固定資産税の落ち込みが大きく、目標に届かなかった。</p> <p>②財政運営については、予算編成において、引き続き行政評価と総合計画の連動による「施策別配分方式」を実施し、市債残高を減らし後年度の公債費負担を抑制するため、市債発行額を歳入予算総額の8%以内かつ元金償還額以内にとどめた。</p> <p>③公有財産については、財産の把握に努め、財産台帳の整備を促進するとともに、財産活用推進室を設置し未利用市有地の販売促進に努めた。また、市庁舎整備に係る基金条例を制定し、将来的に向けて、財源確保の環境を整えた。</p>
翌年度以降の課題、その要因	<p>①市税については、東日本大震災が、法人の経済活動や個人の所得に及ぼす影響は大きく、滞納者及び滞納額は増加すると推測される。滞納者の納付資力等を迅速、的確に調査し、債権を適切に管理するとともに、22年度に開始したコンビニ収納により収納機会の拡大を図り、23年度のコールセンターの導入による徴収体制の整備に努め、休日訪問催告や納付相談などの徴収対策を積極的に講じる。</p> <p>②予算編成については、施策別配分方式の検証を行ない、一部見直したが、23年度も継続して検証する必要がある。また、歳出の徹底した抑制と歳入での自主財源の確保を図り、中期財政見通しと総合計画実施計画のマッチングにより、投資的経費の計画的予算配分に努めることとする。</p> <p>③公有財産については、引き続き関係課と連携し、市有財産の適切な把握と管理に努めるほか、増加が見込まれる未利用市有地の売却や貸付けに努めるなど、有効活用の促進を図る必要がある。</p>







